

九州海外協力協会だより

2016年新年号



特定非営利活動法人
九州海外協力協会



職員より皆様へ

年始のご挨拶です。

みなさま、明けましておめでとうございます。

客年は、協力隊創立50周年の年にふさわしく、年の初めより各地で記念イベントが開催され、そして天皇・皇后両陛下のご臨席を賜り執り行われた横浜での盛大な記念式典、映画クロスロードの上映で締めくくられた感がありました。

今年は新たな1年目が始まるとの思いで、有意な若者の発掘・育成、帰国後の社会還元支援に邁進していきたいと思っておりますので、これまで以上に皆様のご理解とご協力をいただきたく宜しくお願い致します。継続は力なりですね。

武下 悌浩

明けましておめでとうございます。昨年は皆様にとってどの様な1年間だったでしょうか。昨年は自分自身の能力の至らなさを痛感する年でした。九州海外協力協会の一員として、前を向き初心に戻り、これまで九州海外協力協会が歩んできた軌跡に恥じぬよう精進していきたいと思っております。皆様にとって今年も良い年になりますように！

武井 隆浩

新年明けましておめでとうございます。今年は申年。申の字は動物のサルではなく、「草木が十分に伸びきり、実として成熟し、香りと味が備わり固い殻をまとう時期」だそうです。昨年学んだ事を成熟させ、人間的にも良い香りと味を備えたいと思っております。今年もよろしくお願い致します。

米村 淳平

あけましておめでとうございます。

昨年は担当しておりました「命の水プロジェクト」が無事終了し、感慨深い年になりました。今年はまた新たなプロジェクト実施に向けて、様々な活動をしていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

河野菜津子

新春おめでとうございます。

社会情勢においても、様々な動きがあった、2015年。どう生きるのかが問われているような気がします。本年も皆さまにとって豊かな一年となりますように。どうぞ、宜しくお願いいたします。

佃 麻実

明けましておめでとうございます。

年々月日の流れが早くなっているのをひしひしと感じています。時の流れに負けず、日々を大切に生きていきたいと思っております。

皆様にとっても実り多く幸福で平和な日々が続きますように。

古泉 志保

明けましておめでとうございます。昨年は、様々な方に支えられ仕事が行えているということを実感した一年でした。新年を迎え、気持ちも新たに邁進する所存です。今年も宜しくお願い申し上げます。

橋口 恵利子

大洋州からこんにちは♪

9月のアフガニスタン研修員受入に続いて、11月6日より18日まで、「初中等理数科教育」コースにて、大洋州(混成)からの研修員の青年研修を行いました。今回は、初めての米村主任メインの研修！！主に北九州市周辺での研修で、北九州周辺は賑やかだったのではないのでしょうか。

記念すべき初メインの研修について、1ページに亘って、主任の米村より報告をさせていただきます。

歌声に揺られて・・・

ご紹介の通り、11月6日より18日まで「初中等理数科教育」研修コースの受け入れを行いました。今回のメンバーはおなじみ、太平洋の人々。サモア・トンガ・ソロモン諸島・ミクロネシア連邦・パプアニューギニアより15名の研修員が来日しました。JICA九州のセミナールームにて、北九州市教育委員会の指導主事さん、協力隊のOVさん、元大学副学長さんなどを招いての講義や意見交換会を実施したり、北九州市内を中心とした、小学校、中学校、高校、いのちのたび博物館、児童文化科学館をめぐる授業見学や教職員の皆様との意見交換を実施したりしました。

私米村としては、初めてのコースリーダーを担当しました。コースリーダーは、研修コースそのものをデザインし、実施します。私の思いや考えがそのまま研修内容に表れると言っても過言ではありません。それだけ責任重大でもあります。何度も武井さんの実施する青年研修の同行は行いましたが、その裏にあんなにたくさんの準備や書類があるなんて想像も出来ませんでした。慣れない文書作成作業は大変で、いくらやっても慣れません。何とか書類と物品をそろえるといよいよ研修開始です。前日は、「この準備でたぶん大丈夫だが、本当に大丈夫だろうか・・・」なかなか眠れませんでした。

初日。初めて研修員と会いました。初めに部屋に入ってきたのは、ソロモン諸島の校長先生ティミー。次にトンガの大きな若者アトニオ。ミクロネシア連邦の協力隊OBである私自身、太平洋のあのゆるいノリが大好きで、その中にいると安心します。緊張していましたが、彼らに会って大変ほっとしました。それからポール、ケビン、ビセシオ、アウアウナ、ペタ、リサ、マヌ、ネルバー、メルビン、アイオナ、レイチェル、ドロシー。研修員がどんどん部屋に入ってきて、最後にミクロネシア連邦のテレンサが入ってきて15人みんなそろいました。

「我々はチームです！」この一言で、研修コースが始まりました。

彼らと一緒にいる研修の毎日には本当にあわただしく過ぎていきました。青年研修はJICAの定めるところにより研修期間が13日間で、大変短い研修となっています。その中でより大きなインパクトを残さないといけない。よりたくさんのことを学んでもらいたいが、体力も考慮しないといけない。11月の寒くなる頃なので、風邪をひきそうな研修員もいました。

中学校では研修員のためにコンサートを開いていただき、そのお返しに踊りのパフォーマンスを披露しました。このパフォーマンスは、事前にみんなで何度も練習したものです。7名の男性陣が、太平洋の男らしい踊りを踊り(ニュージーランドのハカのような踊りでした)、次にトンガの女性リサが美しい踊りをソロで踊り、次に後ろから現れたサモアの女性陣4名がアップテンポの踊りを踊り、最後にパプアニューギニアの女性陣3名が島の伝統的な激しい踊りを披露しました。最後は中学生も参加して大変な盛り上がりを見せました。最終日には、研修内容を振り返り自国で生かせるアクションプランを発表し研修が終了しました。

印象に残っている事は、研修が始まって3日目の移動中のバスの中でした。

ある研修員が歌いだし、みんな知っている歌だったのか、みんな彼にあわせて歌いだしました。きれいで、優しく、風の静かな波音のような歌でした。

「太平洋のみなさん、そのまま変わらないでくれ」と言いたい自分もいます。

教育は向上していかないといいけない。大切な文化を守りながら、向上して行くのは難しい事かもしれません。でもこれが留学中や協力隊の頃、たくさんお世話になった太平洋の人々への恩返しだと思うので、機会をいただけたらまた挑戦したいと思います。



秋のイベントレポート！！

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋などなど、人によって「〇〇の秋」は違うことと思いますが、九州海外協力協会にとっては、秋はなんといってもイベントシーズン！前回のおたよりでお伝えした通り、たくさんのイベントに出展しました。毎年恒例のイベントから初めてのイベントまで、ご報告いたします！

国際協力 フェスタ 地球市民どんたく2015

11月14・15日に開催された今年のテーマは「つながりあう世界と福岡」！今年は青年海外協力隊50周年を記念して、JICA九州、福岡県OV会との合同ブースを出展。ワークショップも「言葉がわからない」体験ゲーム震災編など、楽しみながら自分と世界のつながりを考えてもらうイベントとなりました。



青年海外協力隊50周年記念映画である「クロスロード」の告知も行いました！皆様もご覧になりましたか？

国際交流フェスティバル In 広川町

11月15日、八女郡広川町にて行われた「見て、食べて、体感するアフリカン♪秋の国際交流フェスティバル」に参加しました。これは、広川町町制60周年記念講演として実施されたもので、当協会はタンザニアをはじめとする世界各国のグッズ紹介や、環境や生産者に配慮された「レインフォレスト・アライアンス」コーヒーの紹介などを行うブースを出展しました。



また、同イベントは広川町国際交流協会設立記念講演でもあり、「世界のことを町民の方々に知ってもらいたい！」というスタッフさんたちの熱い思いが伝わるイベントでした。初心に返る良い機会ともなりました！

アジア太平洋農村研修村 フェスタ2015

11月3連休の初日の21日には、鹿児島県は鹿屋市にありますが当協会の関連団体「アジア太平洋農村研修村」（通称kopic）にてフェスタが開催されお手伝いに行ってきました！

楽器作りなどの体験スペース、屋外ステージ、異文化交流ブース、エスニックカレーなどなど、盛り沢山の内容！！

地域の方がたくさん遊びに来られていると同時に、たくさんの協力者に支えていただいている様子がよく分かりました！

屋外ステージは敷地の広いkopicならではの！



車がないとアクセスは難しいですが、その分豊かな自然が味わえますよ！皆様も是非一度訪れてみてください！

保健医療経営大学 たかやな祭

11月22日には、福岡県みやま市にあります保健医療経営大学の学園祭に出展しておりました！

今年はなぜか若い女子が大量にブースに来てくれたのでなぜだろうと思っていたところ、彼女たちのお目当てはご当地アイドル(?)の「10神アクター」さん。少し時間をもらってステージを見させてもらったところ・・・正直言ってそれまで全く知らなかったのですが、実際問題、アイドルってすごいです！「笑顔」そして「周囲を巻き込む力」が半端なし！是非自分も見習いたいものです。



クラウドファンディングに挑戦中！～カンボジア手仕事支援プロジェクト～

福岡県とNPO法人アカツキの協働支援を受け、日本最大のファンドレイジングサイト JapanGiving(ジャパンギビング)にて、クラウドファンディングに挑戦しています！

カンボジア農村の「手仕事」を支援して、子どもたちが教育を受ける機会をつくりたい！その足がかりとして、工芸品のサンプル製作を行い、商品化につながる支援を行いたいと考えています。

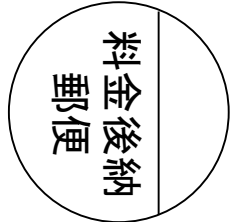


貧困から抜け出すために、子どもたちに「教育」を！

会員の皆さまによるご支援を何卒よろしくお願いたします！



※詳しくは <http://cf.aka-tsuki.org/>
寄付募集期間は2016年1月10日までです！



特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館
2F AB号室
TEL:092-415-6536
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp



(特活)九州海外協力協会 ☆会員募集中☆
当協会では、活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には四半期毎に発行しております「九州海外協力協会だより」をお送りさせていただいているほか、当会主催、共催のイベント情報などをご案内しております。是非ともご入会下さい！

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

九州海外協力協会 ブログ

スタッフが日々の業務やそれぞれの日常を徒然なるままに綴っております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。
基本的には毎週水曜日更新！
コメントお待ちしております☆
<http://blogs.yahoo.co.jp/jocakyushu/MYBLOG/yblog.html>

《編集後記》
2015年の漢字は「安」だそうです。「安全」「安心」の「安」というよりも「不安」の方を思い浮かべてしまふのは私だけでしょうか。
この先もより多くの方が安心して安全な世界で生きることができるよう、祈るだけでなく一歩を踏み出したいと思っています。(古泉)

発行 特定非営利活動法人 九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34
Mビル3号館 2F AB号室
TEL:092-415-6536
FAX:092-415-6518
HP: www.joca-kyushu.or.jp/
E-mail: ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

